



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 桜田 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 経営企画部長 (氏名) 池田 達也

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 0475-26-0160
平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,995	5.7	872	—	1,642	—	916	—
25年3月期第2四半期	29,328	1.1	△143	—	△379	—	△1,262	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4,320百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △3,401百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.63	—
25年3月期第2四半期	△28.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	148,466		133,729		84.8	
25年3月期	147,420		130,074		83.3	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 125,853百万円 25年3月期 122,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	10.00	22.00
26年3月期	—	12.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

26年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,600	7.7	1,900	—	2,200	235.7	700	—	15.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	45,886,739 株	25年3月期	45,886,739 株
26年3月期2Q	1,462,662 株	25年3月期	1,461,880 株
26年3月期2Q	44,424,607 株	25年3月期2Q	44,425,424 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があり得ることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 平成26年3月期の配当予想につきましては、今後の業績の推移を見極めたうえで改めて決定することとし、引き続き未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国で景気の緩やかな回復が続き、欧州では下げ止まり傾向にあります。また、中国は、依然として緩やかな景気拡大テンポで推移しておりますが、その他新興国経済の先行きへの不安や米国の金融政策、財政問題対応などのリスクから予断を許さない状態が続いております。

国内経済は、輸出や設備投資の持ち直し、雇用情勢の改善など、景気は緩やかな回復傾向にあります。

このような状況にあつて、当社グループは、成長戦略に向けた新規事業へ経営資源の投入を行うと共に、既存事業における収益力の向上を推し進めました。電子部品事業では、有機ELディスプレイやタッチパネルの技術開発を促進し、蛍光表示管および蛍光表示管モジュールの体制見直しによる競争力、収益力の確保に取り組みました。電子機器事業では、高付加価値製品の開発のスピードアップをはかり、海外拠点への設計移管をさらに進めました。また、生産器材事業においては、タイおよびベトナムで工場を増設し生産能力を増強すると共に、インドネシアにおいては金型用部品の販売を開始し、アセアン地域の拡販の強化をはかりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は309億9千5百万円(前年同期比5.7%増)となりました。このうち海外売上高は欧米市場が横ばいとなったものの、アジア市場で売上げが増加したことから、177億1千3百万円(前年同期比17.8%増)となり、国内売上高は132億8千2百万円(前年同期比7.1%減)となりました。収益面では、構造改革などの影響から、営業利益は8億7千2百万円(前年同期は営業損失1億4千3百万円)、また、為替差益の影響により経常利益は16億4千2百万円(前年同期は経常損失3億7千9百万円)、四半期純利益は9億1千6百万円(前年同期は四半期純損失12億6千2百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

① 電子部品事業

蛍光表示管は、海外市場で音響用途が順調に推移したものの、海外、国内市場共に車載用途が伸び悩み、売上げは前年同期を下回りました。

蛍光表示管モジュールは、主力であるPOS用途が低迷したものの、計測器用途やノンディスプレイモジュールが伸長し、売上げは前年同期を上回りました。

有機ELディスプレイにつきましては、当期から車載用途へ本格参入したものの、従来からの主力である携帯電話など通信機器用途が低迷し、売上げは前年同期を下回りました。

タッチパネルは、家電用途に加え車載用途が大幅に伸長し、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は117億2千2百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器は、海外、国内市場共に消費マインドに大きな改善がみられず、各種拡販キャンペーンの実施や40数年ぶりに模型飛行機組立キット「スカイリーフ」を市場投入するなど需要喚起に努めましたが、売上げは前年同期並みとなりました。

産業用ラジコン機器につきましては、トラッククレーン向けの需要がやや落ち着いてきたものの、農業関連向けのテレコントロール製品が順調に推移し、新たな領域であるバイク用リモコンの販売も伸びたことから、売上げは前年同期を上回りました。

ロボット用機能部品は、大手パートワーク(分冊百科)販売会社に供給しているコマンド方式サーボモーターが好調に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は43億6千5百万円(前年同期比23.9%増)となりました。

③ 生産器材事業

プレスおよびモールド金型用部品、プレジジョンプレートなどにつきましては、海外では、韓国市場においてタブレット端末向けや自動車向けの需要が増加したことから、売上げは前年同期を上回りました。

国内では、プレジジョンプレートの価格改定による拡販活動の推進やモールドマーチャリングシステムなどの成形合理化関連製品のラインアップを拡充したものの、国内金型市場の減速から、売上げは前年同期を下回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は149億8百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の増加および現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ10億4千6百万円増加し1,484億6千6百万円となりました。

負債は、未払費用や退職給付引当金の減少および支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ26億8百万円減少し147億3千7百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ36億5千4百万円増加し1,337億2千9百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成25年11月8日)公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,351	61,316
受取手形及び売掛金	16,678	16,252
有価証券	6,252	6,218
商品及び製品	4,126	3,736
仕掛品	2,376	2,568
原材料及び貯蔵品	5,900	6,079
その他	1,084	1,336
貸倒引当金	△94	△127
流動資産合計	98,676	97,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,242	13,365
機械装置及び運搬具（純額）	8,023	8,691
工具、器具及び備品（純額）	609	682
土地	16,375	16,604
リース資産（純額）	109	118
建設仮勘定	1,900	1,757
有形固定資産合計	39,262	41,220
無形固定資産	1,143	1,091
投資その他の資産		
投資有価証券	7,439	7,765
その他	1,053	1,129
貸倒引当金	△155	△122
投資その他の資産合計	8,337	8,772
固定資産合計	48,743	51,084
資産合計	147,420	148,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,872	4,328
短期借入金	439	470
未払費用	5,584	2,209
未払法人税等	422	441
賞与引当金	749	1,050
その他	1,639	1,730
流動負債合計	12,709	10,231
固定負債		
長期借入金	15	7
退職給付引当金	3,209	2,855
役員退職慰労引当金	36	57
その他	1,375	1,585
固定負債合計	4,636	4,506
負債合計	17,345	14,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	89,983	90,455
自己株式	△3,276	△3,277
株主資本合計	130,860	131,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639	1,165
為替換算調整勘定	△8,706	△6,643
その他の包括利益累計額合計	△8,067	△5,477
少数株主持分	7,281	7,875
純資産合計	130,074	133,729
負債純資産合計	147,420	148,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	29,328	30,995
売上原価	23,380	24,760
売上総利益	5,948	6,234
販売費及び一般管理費	6,091	5,362
営業利益又は営業損失(△)	△143	872
営業外収益		
受取利息	205	193
為替差益	—	266
作業くず売却益	110	82
その他	192	328
営業外収益合計	508	870
営業外費用		
為替差損	617	—
有価証券評価損	—	71
その他	127	28
営業外費用合計	744	100
経常利益又は経常損失(△)	△379	1,642
特別利益		
固定資産売却益	10	45
特別利益合計	10	45
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産廃棄損	17	40
投資有価証券評価損	261	—
減損損失	41	2
特別退職金	25	45
特別損失合計	349	89
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△718	1,598
法人税、住民税及び事業税	351	467
法人税等調整額	△63	△133
法人税等合計	288	333
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,006	1,264
少数株主利益	256	348
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,262	916

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,006	1,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△480	548
為替換算調整勘定	△1,914	2,507
その他の包括利益合計	△2,395	3,055
四半期包括利益	△3,401	4,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,446	3,506
少数株主に係る四半期包括利益	44	813

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△718	1,598
減価償却費	1,501	1,722
減損損失	41	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17	19
退職給付引当金の増減額(△は減少)	468	△400
賞与引当金の増減額(△は減少)	△218	295
受取利息及び受取配当金	△264	△268
為替差損益(△は益)	428	△248
作業くず売却益(△は益)	△110	△82
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	10	△3
有価証券評価損益(△は益)	—	71
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	264	0
特別退職金	—	45
売上債権の増減額(△は増加)	706	780
たな卸資産の増減額(△は増加)	234	461
仕入債務の増減額(△は減少)	352	64
その他	△101	△340
小計	2,596	3,715
利息及び配当金の受取額	234	293
利息の支払額	△6	△9
特別退職金の支払額	—	△555
転進支援費用の支払額	—	△2,802
法人税等の支払額	△383	△471
法人税等の還付額	43	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,483	197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,408	△21,710
定期預金の払戻による収入	19,042	22,528
有価証券の売却及び償還による収入	152	206
有形固定資産の取得による支出	△1,975	△2,295
有形固定資産の売却による収入	49	130
投資有価証券の取得による支出	△100	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	700	100
貸付けによる支出	△5	△5
貸付金の回収による収入	7	9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	61	—
その他	△53	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,529	△1,064

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	348	—
長期借入金の返済による支出	△18	△7
配当金の支払額	△533	△444
少数株主への配当金の支払額	△173	△214
少数株主からの払込みによる収入	269	—
リース債務の返済による支出	△14	△18
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121	△686
現金及び現金同等物に係る換算差額	△701	873
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131	△679
現金及び現金同等物の期首残高	41,146	42,552
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,284	41,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,495	3,522	14,310	29,328	—	29,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	0	1	△1	—
計	11,496	3,522	14,310	29,329	△1	29,328
セグメント利益又は 損失(△)	△962	344	475	△143	△0	△143

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,722	4,365	14,908	30,995	—	30,995
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	2	0	6	△6	—
計	11,725	4,367	14,908	31,001	△6	30,995
セグメント利益又は 損失(△)	△994	871	995	873	△0	872

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。